

学校・家庭・地域がつながって

◎^{いわもと}岩本 ^{みえ}美恵 先生(あおがし2組担任)

本校の特別支援コーディネーターとして、困り感を感じている子どもたちの支援体制を中心となって作ってくださっている先生が、岩本先生です。

授業では、一人一人の学習の進み具合に合わせて、適切に助言、称賛し、子どもたちの集中力を持続させながら指導されている姿が印象的でした。

子ども達は、とても優しく、やる気をもって最後までやり遂げるところがすばらしい、とのことでした。また、集中力・持続力・学ぶ楽しさを感じさせながら、できるだけ五感を使って学習を積み重ねていると話されました。子どもたちには、人との出会いはどんなものにも代えがたいので、たくさんの人と出会って経験を積んで、自分らしく成長してほしいと語られました。

◎^{あらか}荒木 ^{ももか}萌百香 先生(6年2組担任)

社会科の授業を参観したところ、聖徳太子の人物像を明らかにしていく授業でした。人物についてまとめていく中で、そのまとめ方や手がかりとなるものについて、全員にわかりやすく説明されていました。子どもたち一人ひとりの学びを大切にされているところが印象的でした。

6年2組の子どもたちは、問いかけに対する反応や自分で学ぼうとする姿勢がとてもすばらしく、知的好奇心も高いとのことでした。担任としては、そのよさを引き出し高めながら指導していきたいと話されました。子どもたちには大人になっても好奇心をもち続けて、自分を高めながら社会に貢献してほしいと語られました。

◎^{なかやま}中山 ^{あきこ}晶子 先生(学校栄養職員)

唐津東部地区の学校給食について、常に子どもたちのことを念頭に置き、献立を考え、調理業務をされている先生が、中山先生です。主に給食センターでの業務が多いのですが、そこでは調理員の方への衛生指導等をされています。とにかく衛生面に最大限の注意を払いながら業務をされているとのことでした。

相知小学校の子どもたちは、とても人懐こくて大好きだそうです。また、残食も少なく、よく食べてくれていることにも喜びを感じているとのことでした。子どもたちには、これからも好き嫌いなく、たくさん食べて成長してほしいと話されました。